



高槻ロータリークラブ
2022~2023
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階
TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174
URL <http://www.takatsukirc.org/>
E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
例会場 高槻阪急 6 階 多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954年6月15日

会長 石田佳弘 幹事 長山正剛 クラブ運営委員長 山室匡史 会報担当副委員長 松下浩章

No.29 2023年2月15日 発行

2月は疾病予防と治療月間

第3307回 本日(2/15)の例会

- ◎ ソング ……日も風も星も
- ◎ 卓話 羽根田 茂子君
「なくそう、所有者不明土地」

1月度皆出席表彰

入谷 治夫君	連続 8年
飯田 哲久君	連続 5年
松下 浩章君	連続 5年

※2023/2/22(水)は、定款による休会

第3308回 次々週(3/1)の例会

- ◎ 国歌……君が代
- ◎ ソング……奉仕の理想
- ◎ 誕生、結婚、入会記念月御祝
- ◎ 創業記念月御祝
- ◎ 卓話 浦中 郁文君
「高速道路の維持管理作業」
- ◎ 例会後の行事
3月度定例理事会

先週(2/8)の例会から

◎ゲスト・ビジター

計 0 名

◎出席報告

会員数	出席者数	出席
47 名	36 名	78.26 %
前々回例会補正後出席率		93.62 %
但し、Mup 13 名		欠席者 3 名
出席規定適用免除有資格者		0 名

◎会長の時間

会長の時間です。

先日の IM2 組ロータリーリーダーで「ロータリーの国際平和の精神を学び実践しよう」という講演を聞いてきました。

講師は井上悦子氏で 2005-2006 年のロータリー世界平和フェローの一人です。

ロータリー平和センターとは、世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築くことを目的としたセンターです。

世界 6 カ国 7 大学院にセンターが置かれており、修士号取得のプログラムもしくは専門能力開発のためのプログラムを提供しています。

ICU (国際基督教大学) は国際ロータリーとの協力により 1999 年に「ロータリー平和センター」を設置し 2002 年より継続して毎年約 10 名の学生 (ロータリー平和フェロー) を受け入れています。

ロータリー平和フェローは、大学院博士前期課程に所属し、平和と紛争解決を中心とする国際問題の研究に従事し、修士の学位を取得するのです。

その井上悦子氏から現地の様子をビデオレターで配信して頂きました。

戦争が長く続くと、同じ国の中でも「戦いがはげしい場所」と「そうではない場所」の違いがはっきりしてきます。

ビデオ配信でウクライナの戦場からはなれた街がうつると、平和そうに見えることもあるかもしれません。

イマジンロータリー

ジェニファー・ジョーンズ RI 会長

街の人たちの生活が、もとにもどっているように思うかもしれません。

でも、普通に暮らしているように見える人たちも、たとえば家族が遠くはなれた場所で戦っていたり、いつ自分のところにミサイルがとんでくるかわからないという、緊張した中ですごしているのです。

戦争がいつ終わるかがわかっていれば、もうすぐ戦争が終わるから、それまでみんな何もしないでかくれていよう、ということもできるかもしれません。

でも、いつ終わるかわからない戦争では、みんな生活のことも考えなければならなくなります。

また約30%の人たちが医療サービスに Access できない状況にあると伝えています。

たとえばロシアの攻げきが続くなかでも、新学期が来たら子どもたちは小学校の授業を受けます。

将来はどうなるかわからないけど、いまは勉強にも集中しないといけない。

ひとめ見た時に平和になったように見えることがあっても1人1人の気持ちは実はすごくつらいのです。

そのようなことがたくさんあります。

ウクライナ侵攻はいつ終わる？

侵攻が始まる前までは軍の圧倒的な兵力差から、ウクライナの首都・キーウは数日で陥落すると言われていました。

しかしアメリカなどからの武器供給をうけるウクライナ軍の徹底抗戦によって戦況は拮抗し、停戦交渉も決裂していて、終結の時期は不透明です。

ウクライナはロシア軍の全面撤退を求めているが、ロシア軍によるウクライナ侵攻は、NATO の東方拡大を起因としたものであり、米ソ冷戦時代から続く、アメリカとロシアの対立構図が浮かび上がります。

いわば、ウクライナを戦地とした「代理戦争」との見方もできるでしょう。

プーチン氏は核の使用も再三ちらつかせており、戦況が悪くなれば核を使用する可能性も無視できません。

そうなれば、アメリカとの全面核戦争、第三次世界大戦へ発展する最悪のケースは免れないです。

ロシアは資源大国であり、欧州は天然ガスや石油の供給をロシアに依存しています。

このため、ガソリン代や電気代の急騰などに影響を及ぼしています。

また、ロシアとウクライナ両国は世界有数の穀物生産地であるため、アフリカ諸国を中心に深刻な食糧危機を招いています。

また2月24日に始まったロシアによるウクライナ侵攻は、深刻な人道危機を招いているのみでなく、各国の経済成長にも大きな影響を与えています。

両国の GDP(国内総生産)が世界全体に占める割合は2%ほどであり、世界経済での役割は一見小さいように見えます。

しかし、両国は一次製品の主要なサプライヤーであり、世界全体の小麦の30%、トウモロコシや無機質肥料、天然ガスの20%、石油の11%を両国で占めます。

両国はまた、半導体の製造に使用されるアルゴンやネオン等の不活性ガスを産出しているうえ、航空機に用いられるスポンジチタンの一大生産国で、ウランの資源量も高いのです。

くわえて、両国は金属輸出においても重要な役割を担っており、とくにロシアは車の触媒コンバータに使用されるパラジウムと、スチール製品やバッテリー製品の製造に使用されるニッケルの主要なサプライヤーであります。

これら多くの一次製品の価格は、ロシアのウクライナ侵攻以来、急速に上昇しています。

上記のような一次製品の価格高騰は、世界経済の成長を鈍化させ、インフレ圧力を高めています。

侵攻以前は、ほとんどの国で新型コロナウイルスまん延による影響から回復傾向にあったが、侵攻によって2022年の1年間で、世界の経済成長率は1%以上押し下げられ、インフレ率も2.5%上昇すると試算されています。

戦争が始まって、もうすぐ1年になります。

ウクライナの市民(兵士ではない人)だけで、少なくとも7000人以上が亡くなったといわれています。

世界のほとんどの人が、この戦争がこんなに長くなるとは思っていませんでした。

戦争が始まる時には、いろいろなきっかけがありますが、「終わり方」は限られています。

ひとつは、どちらかが国の中心まで攻めこまれ、国のトップ＝指導者が取りのぞかれて終わる場合があります。

もうひとつは、そこまでいかなくても、どちらかがこれ以上戦えなくなって降伏する場合です。

このほか、どちらかが勝つことも降伏することもないまま、武器をつかった攻撃＝戦闘が止まるということもあります。

おたがいに前にも後ろにも進めないまま、固まってしまふのです。

今回の戦争がこのあとどうなっていくのかは、誰にもわからないのです。

いま1年近くがたって、時間がたてばたつほど簡単にやめられないという問題もあります。

ロシアの会社が、ロシアの人たちにこの戦争についての考えを聞いた調査を見つけました。

「ウクライナで起きている出来事を心配していますか？」という質問をしたところ

「とても心配している」「心配している」と答えた人は「動員令」が出る前の8月は37%と37%であわせて74%でしたが、「動員令」が出ていた9月と10月を見ると、9月は56%と32%で88%、10月は58%と30%で88%と、10ポイントあまりふえていました。

そんな中、ウクライナでは冬に入り、ロシアはいま、ウクライナの発電所などにミサイルをおとして電気を使えないようにしています。

1日の最低気温がマイナス10度にもなる寒いウクライナで、みなさんの生活であたりまえに使っている電気や暖房が使えなくなることを想像してみてください。

きっと心が折れてしまうでしょう。

使いみちを明示していない団体などに寄付した場合、武器の購入などに使われる可能性は否定できないと思います。

それを避けたければ、武器を買うことが考えられない援助団体や国際機関を通すのがいいのではないのでしょうか？

寄付や援助が戦争へ加担することにつながるのではという点は、これまで何度も指摘されてきました。

アフリカなどでは、支援助物資を換金して武器を買う資金にしたり、難民キャンプが兵士の供給源になったりするという例がありました。

ただ、そういう意味で戦争加担になりうるかもしれないとすべての寄付を否定したり、援助団体を批判したりするのはではなく、いろいろな意見を知ったうえで自分がどうするべきか考え、行動を決めることが適切なのではないかと思います。

団体のホームページなどで寄付の使いみちを確認したり、刻々と変わっていく現地の状況を注視したりしながら自分が納得のいく寄付先を見定めていくことが大切だと思います。

ウクライナが脚光をあびていますがミャンマー、アフガニスタン、ソマリア、シリアなども講演で井上氏は支援して頂きたいとおっしゃいました。

以上で終わらせて頂きます。

◎幹事報告

- ・2月ロータリーレート 1ドル：130円
- ・高槻現代劇場よりイベントのチラシが届いております。後方テーブルに置いておりますので、ご自由にお持ち帰り下さい。
- ・東京RC 会員 熊平雅人様より「抜萃のつづり その82」が届いております。皆様へ配布しておりますので、ご覧下さい。
- ・「2023-2024 年度版ロータリー手帳購入のご案内」が届いております。回覧を回しますので、購入を希望される方はご記入下さい。購入代金1冊660円（税込）は個人負担となります。宜しくお願い致します。

◎委員会報告

- ・本日はございません。



◎2/8 卓上花

- スイートピー（ピンク）
…… 繊細
- スイートピー（紫）
…… 永遠の喜び
- フリージア（黄色）
…… 無邪気



◎卓話 「ガバナー月信でメルボルン国際大会のご案内を8か月掲載させて頂いて」

西本 恵美子

皆様 本日は貴重な卓話の時間を頂き、ありがとうございます。テーマは「ガバナー月信でメルボルン国際大会のご案内を8ヶ月連載させて頂いて」です。どうぞよろしくお願い致します。

私は、地区国際・社会奉仕委員会 メルボルン国際大会推進委員長をさせて頂いております。国際大会推進委員長の主な仕事は、ガバナー月信で国際大会のご案内を連載させて頂き、地区国際・社会奉仕委員会のメンバーと共に国際大会推進活動を致します。

2月4日(土)IM2組ロータリーリーダーが千里阪急ホテルで開催されました。

この時の講演のテーマは「ロータリーの国際平和の精神を学び、実践しよう・・・ロータリー平和フェローが見たウクライナ」で、講師はウクライナ在住の井上悦子さんが、ビデオレター形式で行われました。

1部と2部の間に10分間の休憩の予定で講演が始まりましたが、後4～5分で1部が終わると言う時にビデオレターが中断してしまいました。スタッフの方々が復旧作業されましたが、とりあえず10分休憩に入られました。

私はトイレ休憩しておりましたら、伊藤ガバナー補佐が来られて、「西本さん、メルボルン国際大会のご案内やって！」と。・・・私はビデオレター形式でされることすら存じませんでしたし、まして中断してしまうことなど予測していませんでしたので、国際大会のご案内のパワポの入ったパソコンも何も持って来ていませんでした。

さあ 西本どうする・・・そうだ！困った時のQ&A 質問形式！早速この会場で出会ったガバナー月信を読んでくれていそうな方々に line いました。つまり「しこみ」です。「もし、またビデオレターが中断した場合、私がガバナー月信で書かせていただいている内容を質問して下さるよう よろしくお願ひ致します」と。・・・4人とも「OK がんばれ！」くれました。こんな風にいつも周りの方々助けられて、今の自分があるのだなあとつくづく感謝の気持ちで満杯になりました。

そして休憩時間が終わり、ビデオレターが復旧し、1部の続きと2部が始まりましたが、またいつ中断するかわからないそうなので、ドキドキしていました。

ガバナー月信は昨年10月から連載させて頂き、最近配信されたのは2月号なので、あと3月号、4月号、5月号が控えています。もし、Q&Aで私が答えられない質問が「しこみ」の方々以外から出た場合は、「ガバナー月信3月号以降特集を組みますので、そちらをご覧くださいね。」とお約束しようと覚悟を決めておりました。

が、その後は何とか大きな中断せずに無事に講演が終了しました。皆様のおかげでピンチを脱出できたので、皆様に感謝の気持ちで、またまた満杯になりました。

そして次の日、献血活動の高槻会場でガバナーにお会いしました。「2日続けてご苦労様です。ガバナー月信いつも充実した内容を連載して下さりありがとうございます」と。

このお言葉、早速、地区委員会のみんなと一緒に共有する line をいれましたら、みんなとてもよろこんでくれました。

それではガバナー月信をみてみましょう。お手元のリアル・ファイルは、後程回収させて頂きます。

メルボルン国際大会のご案内 ～世界中のロータリアンと素晴らしい感動を共有しよう！～

国際・社会奉仕委員会
メルボルン国際大会推進委員長

西本 恵美子
(高槻RC)



2023年5月27日～31日 5日間に渡り、オーストラリアのメルボルンで国際大会が開催されます。ガバナ一月信では毎号、国際大会やメルボルンの魅力をご紹介します。

【シティ・サークル・トラムで巡るメルボルン街歩き！】

主な見どころはメルボルン市内の中心部エリアにギュッと集まっているので散策しやすいです。無料のトラムに乗って、歴史の街を散策しよう！（レトロな車体に「35」の数字が目印）

①



②



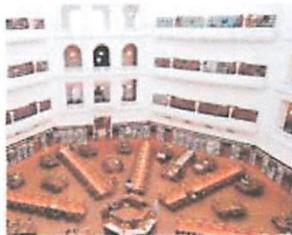
③



④



⑤



⑥



⑦



① フリンダース・ストリート駅 Flinders Street Station

メルボルンのシンボル。1854年国内最初の鉄道駅として開業。1909年完成の建物は州の歴史的建造物に指定されている。街の中心的役割を担い、郊外への路線の起点にもなっている。(シティ・サークル・トラム Swanston St/Flinders St駅から徒歩すぐ)

↓(トラム4分)

<トラムの路線図>



②ビクトリア州議事堂 Parliament of Victoria

州の中枢を担う歴史的建造物。1855年～ 1929年にかけて建てられた州議会の議事堂。連邦議事堂だった時期もある。議会休会日は無料ガイドツアー（所要約50～60分予約不要）で内部見学できる。（シティ・サークル・トラム Bourke St/Spring St 駅から徒歩すぐ土日無料）

↓（徒歩2分）

③セント・パトリック大聖堂 St Patrik's Cathedral

国内最大のゴシックの大聖堂。1858年に着工し1939年に完成したカトリックの大聖堂。ゴシック・リバイバル様式で尖塔の高さは105mに達する。ステンドグラスが美しい荘厳な雰囲気の内見も必見。（シティ・サークル・トラム Parliament Station 駅から徒歩6分）

↓（トラム4分）

④カールトン庭園 Carlton Garden

王立展示場と共に世界遺産に登録。街の北東、カールトンにある緑の美しい公園。1880年開催の万博会場跡で市民の憩いの場になっている。国内では毎年3月にメルボルン国際フラワー&ガーデンショーを開催。（シティ・サークル・トラム Victoria St 駅から徒歩1分）

王立展示館は、存在する世界最古の万博建物。1880年の万博で建てられたパピリオン。ビザンチン、ロマネスク、ルネッサンスなど各建築様式が混在するスタイルが特徴。イベント利用のない日はガイドツアーで内部見学可。（シティ・サークル・トラム Victoria St 駅から徒歩2分）

↓（トラム3分）

⑤ビクトリア州立図書館 State Library Victoria

世界有数の美しい図書館。オーストラリア最大級の規模を誇る歴史ある図書館で、所蔵冊数は150万冊に及ぶ。また、リーディングルームのドーム屋根は必見。図書閲覧及びWiFiは無料で利用可。（シティ・サークル・トラム La Trobe St / Swanston St 駅から徒歩1分）

↓（トラム3分）

⑥クイーン・ビクトリア・マーケット Queen Victoria Market

活気あふれる市民の台所。1878年開設の生鮮食料品から雑貨日用品まで揃う南半球最大規模の常設マーケット。観光客も多く、お土産探しにもぴったり。（シティ・サークル・トラム Flagstaff Station 駅から徒歩6分）

↓（トラム10分）

⑦再開発地区から市街を一望。再開発地区のドッグランズにある大観覧車。20人乗りのゴンドラが約30分かけて一周する。ボートフィリップ湾や内陸の山々までの眺望を楽しめ、ライトアップされる夜も綺麗。（シティ・サークル・トラム Waterfront City 駅から徒歩4分）

【メルボルン国際大会開催中に行われる様々なプログラム】

ロータリー、ホスト組織委員会、ロータリー会員が企画している数々の行事やアクティビティがあります。その中で、〈友愛の家〉と〈分科会〉をご紹介します。





〈友愛の家〉

世界中のロータリーの仲間が集い、楽しみながらアイデアやプロジェクトの成功例を分かち合う〈友愛の家〉について見てみましょう。

友愛の家は、世界各地で大きなインパクトをもたらす活動を実施するために役立つツールやリソースについて情報を集める絶好の場です。

…… 〈友愛の家〉 でできること……

- 人道的活動を行う行動人の世界的ネットワークと繋がる
- 世界中のプロジェクトやクラブによる活動のベストプラクティス、アイデア、成功談を分かち合う
- ロータリーの免許取得業者、アーティスト、ロータリーのパートナーによる製品を購入する
- 地元のエンターテインメントや食事、特別なイベントを楽しみながらロータリーの精神を肌で感じる
- プログラムや奉仕活動に関する最新情報、各種支援、ガイダンスを提供できる国際ロータリー職員と話す
- 2024年ロータリー国際大会(シンガポール)に登録する

…… 〈友愛の家〉 開催日……

5月27日(土)～31日(水)

会場：メルボルン国際会議場 (Melbourne Convention and Exhibition Centre)



〈分科会〉

分科会では、関心のあるトピックを掘り下げて学べ、リーダーシップスキルを磨き、プロジェクト、ファンドレイジング、会員増強のアイデアを学ぶためにぜひご参加ください。

……分科会のトピックのいくつかをご紹介します……

- 革新的な参加促進策による会員基盤の強化
- よりインクルーシブなクラブを通じた多様性の促進
- 若いリーダーによる積極的参加とロータリーの未来のためのディスカッション。
- 規模を拡大できる持続可能なプロジェクトや補助金の立案
- ロータリー行動計画の実践方法
- ロータリーの話を紹介するためのベストプラクティス

…… 〈分科会〉 開催日……

5月29日(月)～31日(水)

分科会での席は先着順となっており、事前登録は必要ありません。





【募集!!】

例会時にメルボルン国際大会のPRをさせて頂けるクラブを募集しています!!

国際大会には、本会議は勿論、大阪地区ナイト、親善朝食会、メルボルン市内観光、オーストラリア観光等々魅力が満載です。

しかし①飛行機やホテルの手配が困難。

- ②国際大会への登録の仕方がよく分からない。
- ③現地でどんなイベントに参加すればよいか迷っている。
- ④観光もしたいが効率よく回りたい。
- ⑤その他

など沢山のお悩みやご質問があるかと思えます。

地区国際・社会奉仕委員会では皆様の様々なお悩み解決のお手伝いをさせて頂きたいと思っています。

国際大会の魅力をお伝えしたり、疑問を解決するきっかけとして、皆様のクラブ例会に訪問させて頂き、ご説明させて頂きたいと思えますので、どうぞお気軽に地区国際・社会奉仕委員会までご連絡頂きます様お願い致します。

連絡先: ガバナー事務所 加茂 宛 E-mail: kamo@ri2660.gr.jp

連絡内容: クラブ名、代表者様名、ご連絡先 (emailアドレス又はお電話番号)
お悩み①～⑤、貴クラブ例会への訪問希望日時 (第一希望～第三希望)

【国際大会への登録】

2023年3月31日までは登録料が575ドルです。4月1日～は675ドルになりますので、早めのご登録をお勧めします。

<ご登録> <https://convention.rotary.org/ja/melbourne/register>

<登録料> <https://convention.rotary.org/ja/melbourne/registration-fees>

<よくある質問> <https://convention.rotary.org/ja/melbourne/frequently-asked-questions>

- 開催日: 2023年5月27日～31日
- 会 場: メルボルン国際会議場 (Melbourne Convention and Exhibition Centre)
- 地区の登録目標数: 300名 2023年1月16日現在の登録数: 118名 (39%)



◎ニコニコ箱報告

- ・誕生記念内祝
松下君 (お祝い頂き有難うご座居ました。)
守田君 (お祝いありがとうございました。)
富川君 (この度生まれて初めて50代になります。よろしくお願ひします。)
- ・結婚記念内祝
藤井君、
西田君 (毎日を感謝して生活をしております。)
- ・入会記念内祝
入谷君、西田君、篠原君
- ・創業記念内祝
山口君
- ・貴重な卓話の時間を頂いてありがとうございます。
- ・2/5 献血活動に8名の方参加下さりありがとうございました。 **西本君**
- ・米山功労表彰をいただいて。 **西本君**
内本君

本日の合計	¥	60,000-
7/1 よりの累計	¥	1,149,000-

◎R 財団への寄付 (年次)

藤井 敏雄君	¥ 5,000-	入谷 治夫君	¥ 5,000-
河合 一人君	¥ 10,000-	西田 直弘君	¥ 30,000-
西本恵美子君	¥ 10,000-	篠原 光子君	¥ 5,000-

本日の合計	¥	65,000-
7/1 よりの累計	¥	640,000-
一人当たり平均		\$ 112.04

◎R 財団への寄付 (ポリオ)

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	323,000-
一人当たり平均		\$ 56.55

◎米山奨学会への寄付

松下 浩章君	¥ 5,000-	西田 直弘君	¥ 30,000-
内本 繁君	¥ 5,000-		

本日の合計	¥	40,000-
7/1 よりの累計	¥	467,500-
〔 会員より	¥	245,000-
	¥	222,500-
一人当たり平均	¥	11,131-

◎青少年育成基金への寄付

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	75,000-